

発行所
石川県保険医協会
 〒920-0902 金沢市尾張町2丁目8番23号
 太陽生命金沢ビル6階
 ☎(076)222-5373番 FAX(076)231-5156番
 編集部E-mail; iskwsugino@doc-net.or.jp
 発行人 井沢宏夫
 印刷所 ソノダ印刷株式会社
 購読料 1年間5,000円(〒共)
 (※本紙の購読料は会費に含まれます)

石川保険医新聞

主な記事

- 4面 来年度診療報酬改定の行方
- 5面 歯科緊急講演会
- 6面 食育関連記事
- 8面 保団連夏季セミナー報告
- 9面 /
- 11面 年金・グループ保険の配当金案内
- 14面 憲法講演会

今月の会員数/1005人(医科723人・歯科282人)

映画「シンデレラ」

九月二十九日より、イオンシネマ金沢にてロードショー(10面)



↑【金沢会場・180人参加】↓



両会場で司会を務めた
 筆者の宮田歯科部員

プロのためのさわやか接遇セミナー

患者さんを大切にする 習慣と心構えをもって

宮田 英利 (金沢市・歯科)



講師の神保洋子氏

「プロのためのさわやか接遇セミナー」は、資生堂 レクターの神保洋子先生を

招き開催された。今回は震災に遭われた能登地区の医療機関の皆様を応援する気持ちを込め、九月一日に七尾サンライフプラザで行い、また八月二十五日には金沢の石川県地場産業振興センターにて開催した。七尾会場は五十人、金沢会場には百八十人と多数の参加があった。

前半は主に座学としての接客心構えの説明があり、「お客様満足の構造」「今という時代・サービスの時代変化」の説明がされたが、時代によってサービスや価値観の変化があっても「さりげない気持ち・もてなしの気持ち」は持ち続けなくてはいけないものであり、機械ではできない「心」があることが大切であると強調された。患者さんが望む条件は「好感が持てる身だしなみを持ち、聴き上手であり、相手の心を閉じさせない助言ができること」との説明があり、プロとして患者さんを大切にすることが

と心構えを持ち、いつもコンスタントな心で接すること、その時には客観視をしていて第二の自分を持つことも大切と指摘された。



【七尾会場・50人参加】

後半は実技指導の形で二人組になり、お互い向かい合って姿勢・表情・声の傾聴トレーニングを行い、相手に悪い感情を与えないような表現の大切さを身をもって確認することができた。

前回も好評だった神保先生の講演は今回も分かりやすく、活気に満ち溢れた話し振りに参加者全員が刺激を受けたようであった。

金沢会場は満員になる人数で活気があったが、七尾会場では講演終了時に多くの質問もあり、神保先生が、親身で明快に回答されたのが印象的だった。

保険医年金

ただ今、加入・増回受付中...十月二十五まで(11面)

医心凡語

在宅医療推進という、官民ともに「新しい医療形態の開拓」といったプラス・イメー

ジはまだまだあるのだが、それに対する思い入れが強すぎるあまり、排他的になることは慎まなければならぬ。最近、在宅医療のオピニオン・リーダー的立場にある複数の医師(県内ではない)の講演やネット上で公開された文章で、かなり過激な意見を見聞きすることがある。ある者は、「これからは在宅の時代だから療養型病床はもっと減らしてしまわなければならない」と述べ、またある者は「在宅専門に特化した在宅療養支援診療所だけあればよい、外来診療の片手間に在宅をやっている皆さんにはお引き取り願いたい」といった風に聞こえる意見を述べている。▼「推進」をうたう論旨の中で多少刺激的な表現を使うことはあるにしても、彼らは厚労省の技官に影響力を持っていると自慢しているくらいだから(半分は本当なのだろう)、我田引水で独善的な主張が国の政策に反映されたらたまらない。▼そういう意味からも、保団連北信越プロジェクトが六月に行った厚労省交渉の中で、協会アンケート調査などをもとにした、一般的な会員施設の在宅医療取り組みの実態を伝えることができたことは大きい。

ごく一部の在宅専門クリニックだけで、地域医療を支えられるはずはないのだから。

保団連研究担当者会議報告

メタボリックに手厳しい指摘が

副会長 平田 米里 (野々市町・歯科)

七月二十二日(日)、新宿NSビルで保団連研究担当者会議が開催され出席した。

午前は森研究部部長の基調提案『メタボリック症候群の上流を考える』から始まった。

メタボ判定基準における腹囲に関して、①男性より女性のほうが大きいという日本の基準はおかしい。英・国糖尿病学会誌にまで非難される始末だ②根拠となる

しかし、メタボは国民の耳目を引きつけることには貢献した。あくまで私見だが、尿酸値が高くなるような生活習慣を続けると、いわゆるパラメータが同時に悪くなる。このことをみれば、食事の内容・習慣が重要で、この点から地域住民に対する栄養・運動・疾病相談ばかりでなく、将来の国を背負うことになる子どもに対する『食育』相談も無償で継続的に行うことが、保険医協会の運動に理解を得ることに結びつくのではないだろうか・・・と主張した。

見た日本の医療②第一線開業医の現状と国民から求められるもの③外来勉強のススメ、などであったが、今後の保険医協会の研究活動において、医科ばかりでなく歯科にもいろんな点でヒントを与えてくれた講演であった。氏のもとには全国から研修に参加する人が絶えないということも言及された。

日本総合診療医学会の運営委員でもある氏は、一般論として、個々の臓器専門医でも、開業して三年一クールを十回も続ければ、それなりの総合診療医になれることは理解できるが、もっと素早く育成するには『診断力』を身につけることが要求されているとお話された。具体的方法は割愛させていただきます。(保団連研究部副部長)

第9回 理事会点描 自民党の惨敗で明るい兆しが

(8月7日・13人出席)

自民党が惨敗した参議院選挙が終わって最初の理事会は、七時四十分ごろから始まりました。

から続く弱者切り捨ての政治に国民がやっと気づいた証しであり、保団連も含めて医療団体の今後の進む方向を見誤らない

氏についての話題があり、森田氏にはぜひ今後の協会活動に協力していただきたいものです。

それ以外の主な報告事項では、財政部から協会と(有)ヒコラテスの収支報告、歯科部から今後の講演会の予定、医療福祉部から『病院マップ』『福祉マップ』の編集状況などがありました。

リアルな話題が刺激になって

理事 大平 政樹 (金沢市・外科)

八月二十六日(日)、東京で開かれた保団連非核平和部会に参加してきました。各協会事務局員でした。

一、声明・抗議文について。六・八月に出された抗議文や声明文の紹介。自衛隊の国民監視行動イラク特措法の延長・教育三法などの強行採

八月二十六日(日)、東京で開かれた保団連非核平和部会に参加してきました。各協会事務局員でした。

二、保団連夏季セミナー報告。原水爆禁止2007世界大会の報告。広島・長崎での大会に保団連並びに各県協会から参加報告。九月に開かれる「第18回反核医師・医学者のつどい」の進捗状況について。九条の会・医療者の会の報告。各県での発足状況など

八月二十六日(日)、東京で開かれた保団連非核平和部会に参加してきました。各協会事務局員でした。

三、原水爆禁止2007世界大会の報告。広島・長崎での大会に保団連並びに各県協会から参加報告。九月に開かれる「第18回反核医師・医学者のつどい」の進捗状況について。九条の会・医療者の会の報告。各県での発足状況など

保団連文化部・味わいと文化の旅 奥の細道の旅 第4弾 「越後路巡り」 11月23日 (金曜・祝日) 新潟駅13時集合 11月25日 (日曜) 富山駅解散 (15:00予定) 訪問地(予定): 乙宝寺、岩船神社、村上歴史文化館・武家屋敷跡、宝光院、西生寺、春日山城、市振など ※全日程バス使用 参加費: 12万5千円(予定価格) 新潟駅までと、富山駅からの費用は別途必要です。 募集定員: 30人(最少催行人員25人) お申し込み・お問い合わせは 保団連(03-3375-5121)文化部・江野まで

決 久間防衛相原爆容認発言 訴訟の現状などが広島部員から詳しく報告されました。(単に同じ席に座っていただけで・・・)。ほとんど同じメンバー(若干午後の方が増えていた)で会議をしていったように思います。ところで、この部会は開いたところによりますます、かなり歴史があるようで、一時下火で数人で開かれることもあったそうです。数年前より再び勢いを盛り返し(多分、憲法論議などがきっかけ)で、現在に至っています。 広島・長崎・兵庫・愛知・大阪・東京などが熱心なようです。 石川は今のところ軟弱で

【牛村 記】

保団連第6回政策部会報告

問題多い
メタボリック

副会長 喜多 徹 (野々市町・内科)

頭書の部会が八月二十日、東京六・二十七日の両日、東京出身の医療経済学の俊英で保団連事務所にて開催された。

第一日目は、「疾患管理」とは何か、日本版疾患管理のねらい」とのテーマで、

京都橋大学文化政策学部の高山一夫准教授の報告と課題をお聞きし、その後、全体で討議を行った。

井医大助教授時代に、当協

は、血友病やHIV/AIDSでは、有意のコスト削減効果が認められたが、糖尿病では認められなかった。ただし、外来診療費、薬剤費に若干の費用削減効果が見られたという。

一方、日本での特定健診・特定保健指導は、一次予防中心にやるもの、ご存じの通りメタボ症候群を中心に、階層化して保健指導を実施するもので、医療費削減が主目的で、自己責任問題点として政府・保険者による上からの疾患管理で

待たれている。最大の問題点として、この事業には「公衆衛生」(憲法二五条)の理念がまったく出てこない

持論

参議院選挙において、安倍政権が惨敗した。マスメディアでは様々な分析や批評が行われている。年金問題、政治と

中で最低。順位も昨年よりさらに一落ちした。ところが、医師の診察を受ける回数は一入当たり一三・八回、データがある二十八カ国中最多となっている。

を露呈したものと云ってよい。参議院選挙に関して、某新聞の特集に興味ある記事があった。「あなたは小泉政権にだまされていたと感じますか」という問いに約半数の対象者が「そ

うねりとなって安倍政権を襲ったものではないだろうか。「多様な労働形態」という名目の下、実際には労働力の買いたたきとして利用されている偽装請負。その違法行為を現経団連会長は合法化しろと恥ずかし気もなく言い放っている。その結果、この国は貧困層比率が先進国中二位というところまで来ている。これは明らかに危険水域だ。

金、閣僚の失言。中にはそういう低レベルの問題で国政を論じるのは不幸だという専門家の指摘さえある。しかし、果たしてそうした問題だけが今日の自公政権への逆風となったのだろうか。

選「改革」という幻想に
院「参院」の始まり

ノイを示した国民

選挙に先立つこと七月二十四日。OECDは「ヘルスデータ2007」を発表した。この中では日本における一人当たり

以上のことより、浮かび上がるのは安い医療資源で酷使される医師の労働実態そのものだ。今医療の現場で起きているさまざまな矛盾や困難は、そうした無理が限界を超えつつあること

う思う」と答えている。今回の選挙の下で静かに起こりつつある地殻変動。その正体は小泉自民党が唱えた「改革」という幻想に対する疑いが、様々な事件で顕在化し、大きな

の医師数は二十。三十カ国中二十七位、OECDの平均三十三を大きく下回る。一方、国民一人当たりの医療費は約二十八万円、三十カ国中十九位、G7の

無理が限界を超えつつあること

様々な事件で顕在化し、大きな

第22回保団連医療研究集会

よかけん/いくけん/医療研! 2007.10/6 sat・7 sun

癒しの医療と平和を求めて

●会場 博多全日空ホテル 参加者募集中
10/6(土) <1日目> 15:15~20:45
15:15▶15:30 ・オープニング
15:30▶16:00 ・全国共同調査結果の発表
16:00▶18:35 ・記念講演
19:15▶20:45 ・レセプション

講演内容
「がんばらないけどあきらめない」 鎌田 實氏
諏訪中央病院名誉院長
「ミジンコの命~命は透けてみえてくる」 坂田 明氏
ミジンコ研究者・アルトサクソ奏者
「いのちのトーク」 鎌田 實氏 坂田 明氏
演奏 坂田 明氏 & 黒田京子氏(ピアノ)

10/7(日) <2日目> 9:00~16:00
9:00▶12:00 ・分科会・ポスターセッション
13:00▶16:00 ・シンポジウム

申込要項
■参加費/医師・歯科医師...8,000円/事務局...2,000円
/コ・メディカル コ・デンタル...500円/市民...500円
■その他/懇親会費(10/6夜)...10,000円/昼食代(10/7昼)...2,000円

主催:全国保険医団体連合会/主務:福岡県保険医協会、福岡県歯科保険医協会
●お問い合わせ 03-3375-5121 (保団連)または所属の保険医協会・保険医会へ

2007年度版『病院マップ』

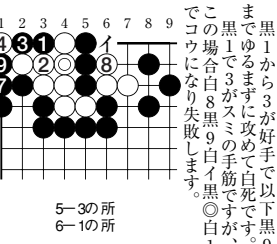
正誤表について

2007年度版『病院マップ』を8月中旬に発行し、会員、掲載病院・施設および『病院マップ』作成にご協賛いただいた会社あてにすでにお送りしましたが、このたび、若干の修正箇所を記載した正誤表(B5用紙・2枚分)を作成しましたので、本紙に同封して、上記あて、お送りしました。

個人で購入されたり、『病院マップ』を使用する方に届いていないところがありましたら、FAXでお送りしますので、ご請求ください。

石川県保険医協会(担当;杉野)まで。
(電話076-222-5373/FAX076-231-5156)

囲碁解答



黒1から3が好手で以下黒9までゆめます。白1が攻めて白死です。黒1で3がスミの手筋ですが、この場合白8黒9白1黒1でコウになり失敗します。

将棋解答

2五香、同金、三二銀不成、同玉、三三銀、二三五、二二銀不成、同玉、三三銀、三二玉、三二馬まで十一手詰め。
(解説)すぐに三二銀不成は1四玉以下上部へ逃げられます。2九香と離して打つのは2六歩とされ詰みません。2五香で上部脱出を防いでから三二銀不成が好手順です。3手目に二二銀不成は同玉以下詰め。同玉に4二角成で追い2銀成が決め手です。1四玉なら二三銀までで同玉ですが、三三銀で収束形に。
(問題は16面にあります)

歯科講演会 ノンクラスプデンチャー

三人の参加者が「ささく明目から」

津田 謹誠 (津幡町・歯科)

七月十二日(木)午後七時から、金沢都ホテルで「ノンクラスプデンチャーについて」と題した講演会を日本咬合学会認定技工士・和田精密歯研北陸地区



デモンストレーション



講師の齋藤正機氏

の歴史として一九六四年ごろから米国で普及し始め、日本では一九九〇年代から徐々に浸透されるも、薬事未承認のため未普及でした。現在、日本では薬事承認もの(レイニング樹脂・ジェットカーボ樹脂)があり、今回は和田精密歯研のレイニング樹脂のノンクラスプデンチャーについて説明がありました。



五十五人が参加して開かれた

困難なケースはあります。ノンクラスプデンチャーを

実際に装着した患者さんの感想として、入れ心地のよい義歯であり、汚れにくさ、義歯臭の無さ、軽さなど、かなり高い満足度が得られています。

まだ発売されて約半年のため、歯牙のアンダーカットによるところが大きく、審美的な観点からも維持部の改良が望まれること、調整や修理についてもっと詳しく情報提供しなければならぬことなどが、これからの課題のようです。

部分欠損におけるニーズとして、機能性・審美性を考えると、インプラントが第一に考えられますが、高額な治療費と長期にわたる治療期間などがネックになっています。対して、術式が簡単で治療期間も短く、患者の負担も軽いノンクラスプデンチャーは、自費診療としてインプラントに次ぐ欠損補綴の位置付けとして、これから普及して行くと思われまます。

講演終了後に、三人の先生より「早速、明日からノンクラスプデンチャーを導入してみようと思う」という言葉をいただいて、講演会を開催して良かったと思えました。

来年度予算概算要求と診療報酬改定のゆくえ

事務局次長 工藤 浩司

来年度予算編成に向けて、八月末日、各府庁による財務省への概算要求が締め切られた。厚生労働省の来年度予算概算要求額は、二千二百兆千六百億円。これは、今年度予算額に比べて六千八百三十五億円、率にすると三・二%の増額

となり、シーリング枠一杯の要求となった。しかしながら、この予算額では、社会保障費の自然増分七千二百億円を賄うことはできず、二千二百億円を削減しなければならぬこととなっている。この削減額については、厚労省は、「予算編成過程において検討する」としており、そのほとんどを医療費で捻出する方向で今後議論が進められる。

現時点での、厚労省の基本的な考え方は、次のとおり。①二千二百億円のうち約半分は、薬価の引下げと後発医薬品の使用促進で捻出②残りの半分は、政管健保の国庫負担を削減し健保組合や共済組合との間で財政調整を行う制度を創設することで対応する、としている。

また、①に関連しては、厚労省会計課から「今の医療の状況などを総合的に考えたとき、果たしてマイナース改定があるのかどうか、われわれもかなり慎重に見ている」との発言があった。旨の報道がなされており、診療報酬本体部分の引き下げについては、厚労省は慎重な姿勢を示している。もちろん、②の議論が進まない場合には、当然に診療報酬本体の引き下げも検討されることになると思われるので、情勢は年末にかけて、なお流動的である。

とところで、来年度診療報酬改定の内容については、八月八日の中医協総会において、厚労省から「平成二十年度診療報酬改定に向けた検討項目例」という文書が提示され、議論のためたたき台が公にされた(全文を下に掲載)。その内容は、まだ抽象的な項目の列挙にとどまっているが、

今後九月中に具体的な検討項目が決定され、十月から個別項目ごとの集中審議が行われる予定である。以下に、現時点で一般紙等により報道されている改定項目についてみていこう。まず、開業医に対して時間外対応や救急医療を担う場合の点数を引き上げた上で、本体部分の引き下げが検討されている。時間外加算の要件の緩和や休日夜間当番医の評価を引き上げる代わりに、再診料を引き下

平成20年度診療報酬改定に向けた検討項目例(8月8日中医協提出資料)

- 1 より良い医療の提供を目指すための評価
 - ① 医療の実情を踏まえた視点からの検討
 - ア 勤務医の負担軽減のための方策
 - イ 救急医療、産科医療、小児医療等の重点的な評価
 - ② 医療機関・薬局の機能を踏まえた視点からの検討
 - ア 初診料・再診料体系等の外来医療の評価の在り方の検討
 - イ 入院医療の評価の在り方の検討
 - ③ 個別の医療施策を推進する視点からの検討
 - ア がん対策を推進するための評価の検討
 - イ 心の問題等への対応と適正な評価の検討
- 2 患者の視点の重視
 - 安心・納得できる医療の評価の検討
- 3 医療技術の適正な評価
 - ① 真の医療ニーズに沿った医療の評価
 - ② 医療技術の評価・再評価
 - ③ 医療の質の評価
- 4 革新的新薬・医療機器等イノベーションの適切な評価と後発品の使用促進
- 5 上記以外の重要項目
 - ① 歯科診療の特性を踏まえた適正な評価の検討
 - ② DPCの在り方の検討
 - ③ 診療報酬改定結果検証を踏まえた検討
 - ④ その他

分二のうつつ状態、問題行動の要件)と歯科診療における患者への文書提供要件の緩和(毎回交付するのではなく、患者の口腔内状況の変化や治療の進行度等を勘案して適切な時期に交付する)などが、検討されることとなるだろう。また、勤務医の負担軽減



15人の歯科会員が今後の歯科情勢について学んだ
前列左が筆者 (8月19日・金沢都ホテル)

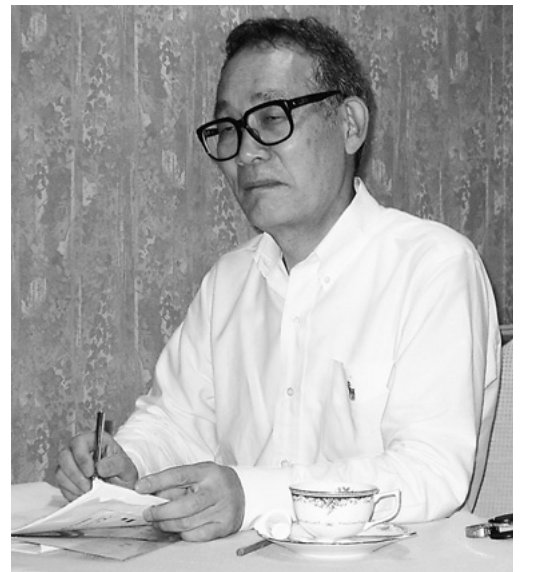
歯科緊急講演会 竹田正史保団連副会長を講師に 高齢者医療と08年診療報酬を採る

副会長 平田 米里 (野々市町・歯科)

八月十九日(日)、午前九時半から十二時まで金沢都ホテルにおいて、歯科緊急講演会『後期高齢者医療と二〇〇八年診療報酬改定に向けた動き』を開催した。講師は竹田正史保団連副会長(東京歯科協会所属)で、十五人の歯科会員が出席した。

診療報酬引き下げで 歯科医院壊滅の危機

講師とは、東京でお話する機会があった。最近の歯科を取り巻く情勢悪化に話が及ぶにいたり、この流れを食い止めるためには、歯科会員に誰かが現状分析や問題点を指摘し、何らかの改善運動に結びつける必要があるのではないかとこの合意に至った。この手の話では氏が保団連ナンバーワンの論客故に、緊急講演を依頼したところ快諾され、今



講師の竹田正史保団連副会長

回の講演会の企画に至った。以下、氏の熱烈スピーチを紹介する。

講演はまず、これまでの歯科診療報酬における問題点の分析から始まった。三十年の長期に渡り新技術の導入がないこと。二十年から三十年にわたって技術料が低く抑えられてきたこと。選定療養として、前歯の材料差額、金属床技術料差額、Cの管理の三項目が指定され、これ以外はないと決着されたこと。新しく評価療養として二〇〇七年に三項目導入されたが、学会中心の療法で、一般会員には恩恵はないこと。したがって、歯科の需給問題と重なって、歯科医院の経営収支は全国的に悲惨な状況となり、来年の二〇〇八年改定でさらなる診療報酬の引き下げが行われると、歯科医院経営は壊滅的打撃を受けることになる。

治療継続の困難と 重症化の懸念も

さらに、歯科衛生士学校や歯科理工士学校の閉校・

削減ばかりでなく、待遇の悪化などにより、歯科医療の担い手がなくなる恐れすらある。これ以上の医療費抑制が進み、窓口負担が増加すれば、過小診療や質の低下を引き起こすし、また混合診療が拡大するとお金のない人は継続して十分な治療を受けられなくなり、アメリカなどで見られるように重症化を引き起こすことが危惧されると分析した。

総合ガイドラインで 歯周病にも保険制限

休憩の後は、最近の審査指導に関する話題から再開された。

ローカルルールと全国ルールとの不一致。指導内容が次期改定への布石となっていること。二〇〇八年十月から、指導審査が地方厚生局に移管され、ブロック単位の編成されることでどんな変化が生じるか、注視する必要があると指摘された。事前に注目度の高かった『総合ガイドライン』に関

内容が十年以上経過して、時代にそぐわなくなったことが理由とされているが、真の狙いは医療費の抑制であることは言うまでもない。

ガイドライン内容の主なものは、①う蝕、歯周病、欠損補綴などの治療を一口腔単位として、『まとめて請け負う』方向を明確に強化すること②歯周病と補綴の平行治療の制限。歯周病においては、歯周ポケット四ミリ以下は軽度の歯周病として早々に治療を打ち切り、後のフォローは保険給付の対象外とし、四ミリ以上の重症のもの(大幅に対象者が減少する)に関してのみ保険給付を認め、治療を進めてよいとする制度に変える案が練られているようだ。推測された(これは非常に大きな影響を及ぼすことになる)と予想される。

歯科が在宅医療から はじき出される恐れも

後期高齢者医療制度においても大きな変更が専門部会で検討されているそう

『新義歯の作成を制限し、義歯の修理まで容認する』という単純なものでなく、『在宅医療(案)』に見られるように、内科医(総合医)の管理の下に、歯科医は自らの裁量権を制限され、単に業務委託を受けることになるというものである。しかも、単に治療から口腔ケアへの移行が推進されるだけでなく、『歯科衛生士は歯科医師の指導の下

このままでは 保険で十分な歯科治療が できなくなります

「保険で良い歯科医療を」 求める 請願署名にご協力ください

歯科会員宛に本紙に同封しました請願署名をご返送ください。署名用紙が足りない場合は、すぐにお送りしますので、保険医協会事務局まで、請求ください。国会に届けますので、第一次分として10月10日までに送りください。最終締切は、国会情勢を鑑みて、お知らせします。

歯科の存亡をかけて 運動を起こす必要が

講演の最終には、富山協会の太田副会長も交え、参加者間の意見交換が熱く行われた。

歯科界は、歯科に対する国民アンケートの一位『保険の効く範囲を広げてほしい!』にいかにかたえるべきか、真剣に検討し、実際に行動に移す必要があることと異論はないが、歯科医

東京歯科協会が出版 歯科視察の報告書

最後に、東京歯科保険医協会が竹田先生を中心にイギリス、ドイツの歯科事情を視察し、報告書を出版した。この報告書を読むと、厚生労働省は、イギリスをお手本に制度改定を進めていることが垣間見える。この報告書をまとめた小冊子『イギリス・ドイツから見た日本の歯科医療』(A四判、三十三頁・総括版)をご希望の会員には、二十冊限定で進呈するので当協会事務局までお申し込みを。

太田先生の、『先回の参議院選挙における成功体(電話)〇七六―二二二―五三七三)

食育に取り組んで三年

今後も子育て支援を中心に

理事 小島 登 (内灘町・歯科)

当協会における食育関連の活動は、二〇〇四年六月号本紙に以下のような問題提起をして始まった。

最近、保育現場などから「噛まない子」「噛めない子」や「なかなか飲み込まない子」というような報告が多くあり、また、小学校では「朝食をとらない」「夜、習い事に出かけるために夕食時間が不規則になる」「学校給食において、食事姿勢の崩れや食器が上手に使えない」などの問題も指摘されている。そして学校検診でも口の中に多くの変化が観察されるようになった。歯の噛み合わせが整っていないかったり、舌が細くて弱々しく、舌の縁に歯の痕がついていたりしている。

そして、「噛めない、飲み込まない子(親)への歯科医師の立場からの働きかけ(教育)」や「食生活の口腔への影響」について深く考えるようになった。

また、二〇〇五年六月十日に食育基本法が成立したが、自分が考えていた食育とは何か違うのではないかと、議論する必要性を感じ、仲間を集うことになった。

それで、二〇〇五年九月の理事会に歯科医師五人からなるプロジェクトチームを立ち上げ、食育について取り組むことを提案し、承認された。

二〇〇五年十月六日から食育プロジェクト会議を隔月に開催している。

まず、当プロジェクトの考える「食育」について検討した。また、子どもたちの食育のために何ができるか模索し、その解決に向けて行動を起こす三年間の活動計画を検討し、①歯科医師自身の研鑽を行う②他職種と連携する③市民への公開講座を開催することを確認した。

二〇〇六年七月二十三日、昭和大学向井美恵教授と丸山進一郎先生をお迎えして第一回食育講演会を開催した。保健師、言語聴覚士、管理栄養士など幅広い職種の参加があり、歯科医師の狭い範囲での捉え方だけでは無く、幅広い角度から子どもの食育を考え、対応していかねばならぬことを痛感した。そして、口腔機能の正常な発達に向け何を指導すべきかや、主に離乳期からの取り組みが大切であることを学んだ。

また、治療現場を實際に体験し今後の方向性などを確認するために、十月二十七日(金)平日の診療を一日休診にして、近藤政子先生、長門佐先生と共に、昭和大学歯科病院歯科リハビリテーション科を訪問した。改めて「舌の口腔外への突出を防ぐこと、取り込むときと飲み込むときの口唇閉鎖」の大切さを再確認した。

また、スタッフの暖かさや深い愛情が感じられ、医療人として「経済優先では無く安心、安全の医療」がここにありと感じた。

二〇〇七年五月二十日には、日本大学の赤坂守人教授をお迎えして第二回食育講演会を開催した。「子育て支援」の観点から健康・健康教育などの地域支援が必要であり、そのため知識と態度の教育を受けることが重要であることが分かった。

また、内灘町民福祉部町民生活課からの依頼で、二〇〇六年一月二十六日(木)に向栗崎保育所保育室にて〇・二歳児の子どもをもつお母さんを対象に開かれた育児講座「歯科医から見た 離乳期からの口腔育成を考えた食」、二〇〇七年七月四日(水)には内灘町子育て支援センターにて「虫歯予防と食育」、また、二〇〇七年八月二十三日(木)には内灘町福祉センターで開かれた北陸小児糖尿病サマーカーンにおいて「虫歯や歯肉炎予防と食育」についてお話しした。

そして、二〇〇六年六月十一日(日)には、かほく市七塚健康福祉センターにて無料歯科検診の一環として、栄養士による離乳食の相談と合わせて、講演会を開催したり、二〇〇六年十二月十八日(月)、河北地域センターで開かれた歯の健康づくり推進地域会議

において、離乳食の栄養指導に機能面の指導も加えることや、二〇〇七年八月二十三日(木)の内灘町立清湖小学校の学校保健委員会において、正しい姿勢でご飯給食を食べるために箸と茶碗を使用することを提案した。

今後の活動として、診療所のできる指導や訓練など実践的な症例や具体的な家庭でできるトレーニングや調理例などについての講演会を企画すると共に、ますます核家族化が進むなか、いろいろな機会を通して育児に悩むお母さんの子育て支援として、保育所や幼稚園、学校、行政の育児相談にも協力していきたい。

【関連記事 7面】

石川県保険医協会

第3回食育講演会 カムカム大百科 「歯科医師から見た食育」

講師：岡崎 好秀 氏
(岡山大学医学部・歯学部附属病院 小児歯科)
開催日時：10月14日(日) 午前9時半から12時半まで
開催場所：金沢流通会館 4階 研修室
(金沢市問屋団地中ほど TEL076-237-8585)
地図は案内チラシをごらんください。
参加対象：歯科医師、医師、医療・介護・教育・保育・行政関係者など
定員：120人(定員に達し次第、締め切らせていただきます)
参加費：無料

食育講演会も第3回目を迎えることになりました。3回目の今回は、食育基本法から少し離れ、角度を変えて「歯科医師から見た食育」について学ぶ機会をいただきました。歯科からの話といえば「むし歯」、むし歯の話となると「歯磨き」と「甘いものを控える」などの話で「またか!」と思います。でも歯は磨くために生えてくるのでもなければ、むし歯になるために生えてくるものでもありません。歯は食物を噛むために生えてくるのです。皆さんも、われわれ歯科医師も、歯が生えてきてからの食機能や歯の病気がかりに気が向きがちですが、歯が生えてくる以前の口腔機能の獲得についても知識を得るべきだと考えております。今回は子どもの心に戻ったつもりで、食育についての話を楽しんでいただき、明日からの歯の健康に役立てていただければと思います。口の中の不思議や噛むことの役割について、楽しく考えてみましょう!

申し込み/石川県保険医協会まで TEL: (076) 222-5373 FAX (076) 231-5156 E-mail:iskw_kudo@doc-net.or.jp

歯科講演会

インプラント セミナー

- ◆講師：山口 敦氏 (和田精密歯研(株)インプラント事業部長)
- ◆開催日時：10月18日(木) 午後7時から9時まで
- ◆開催場所：金沢都ホテル 7階 鳳凰の間
- ◆参加対象：歯科医師 (定員50人。定員に達し次第、締め切らせていただきます)
- ◆参加費：無料(ただし、非会員は一人5万円)

主催 石川県保険医協会 歯科部

申し込み・お問い合わせは/保険医協会まで TEL 076-222-5373

第2回 食育講演会

「国民的運動『食育』を どう捉え、展開するか」

— 子どものこころとからだの健康づくりの視点より —
〈アンケート結果の一部抜粋〉

- 日 時：2007年5月20日 9時半から12時半
- 講 師：赤坂 守人 氏 (日本大学歯学部研究所教授)
- 場 所：石川県地場産業振興センター本館 第5研修室
- 参加者：113人
- アンケート回収：76人分、回収率：67.3%

(1) あなたの職種について

職 種	人 数	%
歯科医師	8人	10.6%
歯科衛生士	12人	15.8%
歯科助手	3人	3.9%
医師	0人	0%
上記以外の医療関係者 (看護師、管理栄養士)	4人	5.3%
介護関係者	0人	0%
教育関係者	3人	3.9%
保育関係者	2人	2.6%
行政関係者	1人	1.3%
学生 (石川医療技術専門学校)	42人	55.3%
その他 (飲食業・製造販売)	1人	1.3%

(2) 今回の講演で面白かった点は、どんなところですか？

- 「食」と生活習慣・食習慣の重要性について
 - ・共働きが多い現代、多食による個食、ファーストフードによる子どもの生活習慣病が増えているが、食事を少し工夫するだけで違ってくる。少しでも子どもの健康が良くなるなら、患者さんにそれを伝えたいと思った。(歯科衛生士)
 - ・「食育」は心身ともにとても大事であることを改めて学ぶことができました。子育てにとても良い勉強になるので、参考にしていきたいと思えます。最近、家族そろって食事をするのも確かに少なくなっている点も納得で、子どものことを第一に考えて、食事をみんなでとるようにし、楽しい時間であるようにしていけたらと思いました。(歯科衛生士)
 - ・歯の生え方は乳児の生活が影響することなどを知ることができました。噛む能力の測定についても面白かった。(学生)
 - ・子どもの夜更かしと「食育」関連について面白く聞いた。(学生)
- 食育の実践、口腔機能の発達支援・指導について
 - ・今後の食育に対する取組みをいかに展開していくか、歯科医師として何ができるか、どうするかについて学べたこと。(歯科医師)
 - ・「親など大人と一緒に食事する機会が少なくなっている今の時代である。両親から食事のマナーを継として伝承すべき。」本当にそうであると思う。そのことはすべてにおいて、子どもの心、身体の発達につながると思います。(教育関係者)
 - ・食育のなかに味覚教育というものがあり、その内容が今まで聞いたことがなかったので面白かったです。(学生)
 - ・手づかみ食で色々な体験、経験をすることで、摂食機能が発達し、箸やスプーンなどを上手に使用できるようになるということを知り、手づかみ食の大切さを知りました。(歯科衛生士)
- 咀嚼の重要性、咀嚼回数について
 - ・食事に対する考え方を今一度、根本的に時代の流れとともに変化に合わ

せて考えていくことが大切であること。最近はとても多くなっている、水や牛乳やお茶で食べものを流し込む(噛まない)ことは良くない、ということも伝えていかなければならない。(歯科衛生士)

- ・ものをよく噛むことの意味と大切さを知ったこと。(学生)
- ・咀嚼から全ての臓器へつながっているという話。朝、昼、夜のリズムの大切さ。(学生)
- ・食品の咀嚼回数表について、どの食品がどれくらいの柔らかさ、硬さかは視覚でも判断できますが、回数となるとなかなか判断するのも大変だと思います。大体どのくらい噛むのかが一目で判断でき、とても見やすく良いものだと思います。(歯科助手)

○孤食、個食、ネグレクト等について

- ・一緒に食べていても孤食となり得ること、ネグレクトなどを知識として吸収できたことは良かったと思います。(歯科医師)
- ・幼児の虐待と口腔疾患との関係。母親への支援の場と方法。(歯科医師、歯科衛生士)
- ・虫歯の数や未治療の歯の数がネグレクトの判断基準となること。(学生)
- ・外食・個食の弊害について、詳しく教えていただけて良かったです。(歯科衛生士)

○その他

- ・現代の日本が洋食化していく一方で、アメリカ等で日本食が食育に役立っているということが分かりました。日本はどんどん食生活が崩れているということも分かりました。フランスで味覚教育が行われている様子などが知れて、面白かったです。(医療関係者)
- ・乳幼児、学童期の実態をわかりやすくお話していただいたこと。また、「口腔」「食」という二つの切り口から非常に幅広く、奥の深いお話が聞けて良かったです。(教育関係者)
- ・先生が、歯科医という立場から食育についてお話をされていて、とても興味深かった。(学生)
- ・教科書的にだけでなく、現実にそくした内容でためになった。(歯科医師)

(3) 今後の食育講演会に期待する点は、どんなところですか？

○講演内容

- ・高齢者における食育、高齢者の歯や歯に関係する病気、改善すべき食生活など。(学生)
- ・食べることと精神面(こころ)との相関関係を交えた講演。(学生)
- ・歯科分野での実際の食育教育の状況。実践しておいでる先生のお話などを取り入れていただけると、より興味深い。(行政関係者)
- ・症例をいくつか見せてほしい。(歯科医師)
- ・一診療所でどのように対応していけば、地域住民に知らせることができるのか。(歯科医師)
- ・チェアサイドですぐに使えるような食育指導についての講演を行ってほしい。例えば、3歳でカリエスを主訴に来院した患児の保護者に対する指導など、具体的に。(歯科医師)
- ・必要な口腔機能を獲得しないまま学童期に至ってしまった児童とその保護者に、どんな指導・支援をしていけばよいのか、具体的に家庭でできるトレーニングなどがあれば知りたいです。(教育関係者)
- ・具体的に調理例やメニューなどを教えていただきたいです。(歯科衛生士)
- ・現在の歯、口腔の状態と、以前(昔)の状態の比較・検討した内容。(管理栄養士)

○参加対象者の拡大、食育の普及について

- ・妊婦や母親を対象とした講演を聞きたい。母親指導をする立場としての講演を聞きたい。(保育関係者、歯科衛生士)
- ・母親学級などでも講演してほしい。(看護師)
- ・医療関係者なども知識は必要ですが、もっと「食育」の重要性を一般の方(独身の方)にも普及していただきたいと思います。(歯科衛生士)

○講演会の講師について

- ・「食育」を色々な専門職の方々から聞けるのはとても勉強になると思います。様々な分野の方のお話が聞けると良いです。(保育関係者)

連夏季セミナー

今年も保団連夏季セミナーが7月7日、8日の両日に開かれた。全国から392人、石川からは4人が参加し、シンポジウムや講座を受講した。

以下、出席者からのレポートを掲載する。

記念講演

安倍内閣の『美しい日本』と明日の日本を考える

講師 経済評論家 内橋克人氏
理事 大川 義弘(金沢市・内科)

記念講演は、経済評論家内橋克人氏による「安倍内閣の『美しい日本』と明日の日本を考える」であった。講演が終わったのが午後九時半ごろで、ホテルの部屋に戻り、何気なくテレビをつけたら必殺仕事人をやっていた。許認可権を持つ奉行に一万両渡すことで、大店が地域開発で三万両の利益を上げるといふ場面が出てきた。内橋氏の講演の中で出ていた新自由主義者による政策展開で行われていることは、そこまで露骨ではないものの、それに近いものだと思った。

氏は最初に、七月七日は

「規制緩和という悪夢」という本で、現在を予測していたという。当時は規制緩和への疑問を呈すると守旧派と言われたほどで、氏もバッシングをずいぶん受けたそう。その中で市民の立場で、事実を積み上げ冷静に分析する姿勢を貫いていることに敬服した。

森光氏は個人的にはもつと国民医療費に金を回したが、財務省の締め付けが厳しいので、まだまだ効率化できるところは効率化させるといふ。この流れを断ち切るには、大きな社会的な動きがないとできないと言いつつ、やはり国民世論が動かないと政策は変わらないと実感した。

講座3

医科診療報酬政策 (後期高齢者医療含む)

講師 厚生労働省保険局医療課長補佐 森光敬子
機関紙・文化部 齊藤 典才(金沢市・外科)

二日目に行われた講座3「医科診療報酬政策(後期高齢者医療含む)」の報告を行う。

この講座は、厚生労働省・保険局医療課の森光敬子課長補佐を講師に招いて開かれた。平成二十年診療報酬改定に向けた今後の療養報酬改定に向けた今後のスケジュールの紹介と、今までのDPCに対する評価、慢性期入院包括払いに

が、今年の夏から秋にかけて、「社会保障審議会の後期高齢者特別部会」において後期高齢者医療の新たな診療報酬骨格の取りまとめを行ったあと、中医協を経て、二〇〇八年一月、二月に診療報酬点数の改定

が、今年度の夏から秋にかけては、十七年度に比べ医療区分の割合が減り、評価できるとしたと、今の医療区分やADK区分については、患者一人一日あたりの直接ケア時間の順序性が保持されているため、概ね妥当と報告された。

質疑応答では、会員からは不満に満ちた質問が多く出された。特に「どうして国民医療費がこれだけ削減しなければならないのか」という質問に対しては、「日本は今にも倒れてしま

は、DPC病院の拡大は日本医師会から反対されていること、すべての病院をDPCにするかどうかを現在中医協で検討していることであった。平成十八年度の医療型療

昭和恐慌を脱出するため需給ギャップを埋める必要があり、当時の大蔵大臣高橋是清は軍需費を最大国家予算の四七%まで拡大して、一時的に不況を脱したが、その後軍需費増大で作った兵器をどうするかということで十五年戦争に突入したという分析。

ブッシュは、産軍コングロマリットの後ろ盾で、年齢者医療制度」が始まる

平成二十年度は「後期高齢者医療制度」が始まる

平成二十年度は「後期高齢者医療制度」が始まる

この疾病管理という概念

保団連の大竹理事(整形

と課題を示された。(九面につづく)

講座5

『医療の標準化』・疾病管理 (オンライン化、特定保健指導含む)

講師 京都橋大学准教授 高山 一夫
歯科部 宮田 英利(金沢市・歯科)

京都橋大学・高山一夫准教授から「疾病管理とは何か、日本版疾病管理のねらい」の講演があった。これは中長期的な医療費適正化のひとつで、二〇二五年までに医療費を八兆円削減することを目標に置いた計画の柱であり、内臓脂肪症候群・糖尿病に特化した特定保健指導を行い、厚

は、米国における疾病管理協会の考えを日本に持ち込もうとするものであるが、疾病管理(Disease Management)という考えは、経営や製造・流通の世界の理論であるため、個別対応が必要な医療の世界にこの考えを持ち込むのは非常に違和感があるということを強く指摘された。

今回、日本で行おうとする疾病管理は一次予防に重点を置くものであるが、ほかの疾病の早期発見・治療の放棄につながるか、また政府・保険者による医療介入・標準化や健診・健康指導における「営利化(ビジネス)への進展が見込まれるなど問題点も多くある」とのことである。

いまこそ人権としての社会保障の確立を

小川政亮 著作集 全8巻

小川政亮著作集編集委員会編

2007年10月 全巻同時発売

A5判カバー装 各巻平均368頁
各巻 4,500円(税別)
セット価 36,000円(税別)
大月書店



全国から392人が集って開かれた第37回保団連夏季セミナー (7月7日・8日/東京・虎ノ門パストラル)

第37回 保団

シンポジウム

これからの医療 どうなる、どうする

パネリスト

副会長 平田 米里(野々市町・歯科)

三 修 介(大阪大学教授・元厚生労働省老健局長・元社会保険庁長官)
渡辺 俊光(日本経済新聞論説委員)
津田 美秀(保団連副会長)
宇野 秀日(保団連副会長・歯科代表)
日野 秀(東北大学大学院教授)

(八面のつづき) やマスターの作成・セキュリティの問題なども数多くあるということである。実際にオンライン請求が行われている韓国の例では、混合診療が多く毎月審査基準が変わり、平均点以下のレセプトは審査対象外という望ましい試算結果がある反面、診療所への導入

今までに何度かこのよう なシンポジウムを聞いたが、最高レベルの内容と思えた。面白くまた分かりやすかつ

た。

最初は大阪大学の堤修三教授。

彼は介護保険の設立に五年間かかわった元厚生省の官僚とか。

昭和五十年以降、社会保障(医療費など)の予算制約の大きな方針が『シーリング』として確固たる基盤となつてい

る。小泉内閣時代の遺産となった二〇〇六年骨太方針が踏襲され、過去の五年間と同じく、これからの五年間に一・六兆円(国庫負担一・一兆円)の

社会保障費が抑制されることが決まった。毎年、自然増で七千七百億円が増えることが予想されるが、このうち(一・一兆÷五)二

千二百億円を毎年減額する必要に迫られる省は、この二千二百億円部分を減らす

ために、いろいろと診療報酬の中身(制度)を変えたりすると元官僚の立場で解

説した。二〇〇六年の医療制度改革の現実と題したテーマでは、医療費適正化の非論理性へ疑問が投げかけられ、

都道府県を中心とした医療保険一元化の一步として介護保険や後期高齢者医療の

保険者が広域連合に再編されようとしているが、すべてにおいて完全な一元化ができると思えない。

また、後期高齢者医療制度そのものに関しては、この制度は十年は持たないと切り捨てた。

七十五歳以上の本人負担が一割、公費負担が五割、保険者の支援金が四割の財源構成では将来の引き上げが困難で、結局強烈的な医療費の抑制が不可避となる。

すると十分なレベルの医療を受けることができなくなり、七十五歳以上の患者の何割かは姥捨て山に置き去りされたものと同じとなると

想されるというのだ(先日、歯科医師会に行つて父

の保険を歯科医師国保に変えようとしたら、雑談になった。事務局の人が言うには、後期高齢者の制度は実際の運用で困ることが生じている。七十五歳以上でも

歯科医師会の会員で仕事もしているのに、歯科医師国保から脱会しなければならなくなる。籍だけでも歯科医師国保においておかないと従業員も脱会せざるを得なくなってしまう。困ったものだ。

医師会でも同じだろうが、会社などの事業主は負担が楽になるだろうが、今まで属していた団体から突然切り捨てられるというのもおかしなことだ。

二番手は、日本経済新聞論説委員の渡辺俊介氏。彼は一貫して国民医療費は国民所得の一〇%を確保する必要があると主張しているとか。日本は現在七・三%で先進国中の一七、十八番手。

その財源をどこに求めるかといえば、日医は一般会計はとて無理だろうから、特別会計の二百兆円の中から捻出すべきと主張しているが、消費税の引き上げしかないだろう。それとでも九百兆円とかいう国の借金に使うべきとの声はあつても、医療に使うべきとの声が国民から挙がってこない。世論は、診療報酬を上げる必要があるとは思っていない。医療の現場が大変になっていくという認識がない。日経の若手記者の中でその認識は薄い。彼自身は来年も二千二百億円の医療費を削減し、それが毎年

科)保団連副会長。歯科は今まで、医科以上に徹底的な医療費抑制策が要な最低項目の一つ、必要経費であるとの主張は、『なぜに医療だけは、建設業や農林水産業と違い特別扱いされる存在なのか』が不明瞭で、個人的にもやもやしていた長年の謎が、日野先生のお話で解き明かされたようです。

内容は、保団連発行の冊子などに詳しいが、一部を紹介すると・・・大企業が勝ち組であることは明らかで、応負担の原則から言ってもどこか税を負担すべきかは言うまでもない。ルールある資本主義なら、諸外国のGDP比から見ても現在の三十二兆円の医療費が四十二兆円になつてもまだ多すぎるとはいえないくらいで、日本の大企業はもつと法人税を払うべきだ。年次改革要望書をそのまま受け入れて、アメリカ金融資本などの要求に迎合するのはいい加減にして、社会保険庁がその『手引き』に、社会保険の特徴は①勤労国民の相互扶助を目的とし②従業員の福祉をはかり③国が責任を持って運営し④法律で加入を義務づけ⑤所得に応じて保険料を負担し、必要に応じて給付を受ける・・・という原則をきちんと守るべきであると主張された。

津田光夫副会長は、わが意を得たりとばかりに、最後に、「・・・だから医療費の総枠拡大は可能である」と締めくくった。

の保険を歯科医師国保に変えようとしたら、雑談になった。事務局の人が言うには、後期高齢者の制度は実際の運用で困ることが生じている。七十五歳以上でも歯科医師会の会員で仕事もしているのに、歯科医師国保から脱会しなければならなくなる。籍だけでも歯科医師国保においておかないと従業員も脱会せざるを得なくなってしまう。困ったものだ。

医師会でも同じだろうが、会社などの事業主は負担が楽になるだろうが、今まで属していた団体から突然切り捨てられるというのもおかしなことだ。

二番手は、日本経済新聞論説委員の渡辺俊介氏。彼は一貫して国民医療費は国民所得の一〇%を確保する必要があると主張しているとか。日本は現在七・三%で先進国中の一七、十八番手。

その財源をどこに求めるかといえば、日医は一般会計はとて無理だろうから、特別会計の二百兆円の中から捻出すべきと主張しているが、消費税の引き上げしかないだろう。それとでも九百兆円とかいう国の借金に使うべきとの声はあつても、医療に使うべきとの声が国民から挙がってこない。世論は、診療報酬を上げる必要があるとは思っていない。医療の現場が大変になっていくという認識がない。日経の若手記者の中でその認識は薄い。彼自身は来年も二千二百億円の医療費を削減し、それが毎年

の保険を歯科医師国保に変えようとしたら、雑談になった。事務局の人が言うには、後期高齢者の制度は実際の運用で困ることが生じている。七十五歳以上でも歯科医師会の会員で仕事もしているのに、歯科医師国保から脱会しなければならなくなる。籍だけでも歯科医師国保においておかないと従業員も脱会せざるを得なくなってしまう。困ったものだ。

医師会でも同じだろうが、会社などの事業主は負担が楽になるだろうが、今まで属していた団体から突然切り捨てられるというのもおかしなことだ。

二番手は、日本経済新聞論説委員の渡辺俊介氏。彼は一貫して国民医療費は国民所得の一〇%を確保する必要があると主張しているとか。日本は現在七・三%で先進国中の一七、十八番手。

その財源をどこに求めるかといえば、日医は一般会計はとて無理だろうから、特別会計の二百兆円の中から捻出すべきと主張しているが、消費税の引き上げしかないだろう。それとでも九百兆円とかいう国の借金に使うべきとの声はあつても、医療に使うべきとの声が国民から挙がってこない。世論は、診療報酬を上げる必要があるとは思っていない。医療の現場が大変になっていくという認識がない。日経の若手記者の中でその認識は薄い。彼自身は来年も二千二百億円の医療費を削減し、それが毎年

の保険を歯科医師国保に変えようとしたら、雑談になった。事務局の人が言うには、後期高齢者の制度は実際の運用で困ることが生じている。七十五歳以上でも歯科医師会の会員で仕事もしているのに、歯科医師国保から脱会しなければならなくなる。籍だけでも歯科医師国保においておかないと従業員も脱会せざるを得なくなってしまう。困ったものだ。

医師会でも同じだろうが、会社などの事業主は負担が楽になるだろうが、今まで属していた団体から突然切り捨てられるというのもおかしなことだ。

二番手は、日本経済新聞論説委員の渡辺俊介氏。彼は一貫して国民医療費は国民所得の一〇%を確保する必要があると主張しているとか。日本は現在七・三%で先進国中の一七、十八番手。

その財源をどこに求めるかといえば、日医は一般会計はとて無理だろうから、特別会計の二百兆円の中から捻出すべきと主張しているが、消費税の引き上げしかないだろう。それとでも九百兆円とかいう国の借金に使うべきとの声はあつても、医療に使うべきとの声が国民から挙がってこない。世論は、診療報酬を上げる必要があるとは思っていない。医療の現場が大変になっていくという認識がない。日経の若手記者の中でその認識は薄い。彼自身は来年も二千二百億円の医療費を削減し、それが毎年

の保険を歯科医師国保に変えようとしたら、雑談になった。事務局の人が言うには、後期高齢者の制度は実際の運用で困ることが生じている。七十五歳以上でも歯科医師会の会員で仕事もしているのに、歯科医師国保から脱会しなければならなくなる。籍だけでも歯科医師国保においておかないと従業員も脱会せざるを得なくなってしまう。困ったものだ。

医師会でも同じだろうが、会社などの事業主は負担が楽になるだろうが、今まで属していた団体から突然切り捨てられるというのもおかしなことだ。

二番手は、日本経済新聞論説委員の渡辺俊介氏。彼は一貫して国民医療費は国民所得の一〇%を確保する必要があると主張しているとか。日本は現在七・三%で先進国中の一七、十八番手。

その財源をどこに求めるかといえば、日医は一般会計はとて無理だろうから、特別会計の二百兆円の中から捻出すべきと主張しているが、消費税の引き上げしかないだろう。それとでも九百兆円とかいう国の借金に使うべきとの声はあつても、医療に使うべきとの声が国民から挙がってこない。世論は、診療報酬を上げる必要があるとは思っていない。医療の現場が大変になっていくという認識がない。日経の若手記者の中でその認識は薄い。彼自身は来年も二千二百億円の医療費を削減し、それが毎年

の保険を歯科医師国保に変えようとしたら、雑談になった。事務局の人が言うには、後期高齢者の制度は実際の運用で困ることが生じている。七十五歳以上でも歯科医師会の会員で仕事もしているのに、歯科医師国保から脱会しなければならなくなる。籍だけでも歯科医師国保においておかないと従業員も脱会せざるを得なくなってしまう。困ったものだ。

医師会でも同じだろうが、会社などの事業主は負担が楽になるだろうが、今まで属していた団体から突然切り捨てられるというのもおかしなことだ。

二番手は、日本経済新聞論説委員の渡辺俊介氏。彼は一貫して国民医療費は国民所得の一〇%を確保する必要があると主張しているとか。日本は現在七・三%で先進国中の一七、十八番手。

その財源をどこに求めるかといえば、日医は一般会計はとて無理だろうから、特別会計の二百兆円の中から捻出すべきと主張しているが、消費税の引き上げしかないだろう。それとでも九百兆円とかいう国の借金に使うべきとの声はあつても、医療に使うべきとの声が国民から挙がってこない。世論は、診療報酬を上げる必要があるとは思っていない。医療の現場が大変になっていくという認識がない。日経の若手記者の中でその認識は薄い。彼自身は来年も二千二百億円の医療費を削減し、それが毎年

の保険を歯科医師国保に変えようとしたら、雑談になった。事務局の人が言うには、後期高齢者の制度は実際の運用で困ることが生じている。七十五歳以上でも歯科医師会の会員で仕事もしているのに、歯科医師国保から脱会しなければならなくなる。籍だけでも歯科医師国保においておかないと従業員も脱会せざるを得なくなってしまう。困ったものだ。

医師会でも同じだろうが、会社などの事業主は負担が楽になるだろうが、今まで属していた団体から突然切り捨てられるというのもおかしなことだ。

二番手は、日本経済新聞論説委員の渡辺俊介氏。彼は一貫して国民医療費は国民所得の一〇%を確保する必要があると主張しているとか。日本は現在七・三%で先進国中の一七、十八番手。

その財源をどこに求めるかといえば、日医は一般会計はとて無理だろうから、特別会計の二百兆円の中から捻出すべきと主張しているが、消費税の引き上げしかないだろう。それとでも九百兆円とかいう国の借金に使うべきとの声はあつても、医療に使うべきとの声が国民から挙がってこない。世論は、診療報酬を上げる必要があるとは思っていない。医療の現場が大変になっていくという認識がない。日経の若手記者の中でその認識は薄い。彼自身は来年も二千二百億円の医療費を削減し、それが毎年

第60回カンヌ国際映画祭 アウト・オブ・コンペティション部門特別招待作品 『ボウリング・フォー・コロンバイン』 『華氏911』

マイケル・ムーア最新作

シッコ

SICKO
sicko.gyao.jp

ビョーキなアメリカにメスを入れる、世直しリアル・エンターテインメント。

マイケル・ムーア監督作品
「シッコ (SICKO)」をぜひ観よう!

9月末、マイケル・ムーアの映画「シッコ」が金沢でも公開される。シッコ (SICKO) とは、病気あるいは、精神異常者の意味である。そうすると、この映画は「アメリカの医療制度は精神的に病んでいて、まさに狂気の医療制度と言うべき状況である」と、ムーアが訴えているとも解釈できる。

映画は冒頭より、アメリカで起こっている恐るべき実例を暴露していく。

作中に事故で中指と薬指を2本切断した男性が病院へ。彼には健康保険が無い。医師は「指をくっつけるには、中指は720万円 (6万ドル)、薬指は、144万円 (1万2千ドル) かかりますがどうしますか」と尋ねる。男性は、中指をあきらめる。今、男性には中指がない。

交通事故で意識不明になった女性が救急車で病院に運ばれる。アメリカでは救急車の搬送も有料 (高額) だ。彼女は回復して、保険会社にその搬送料を請求すると、保険会社は「事前に承諾のない救急車の搬送は認められない」と、支払いを拒否する。『意識がないのにどうして連絡しろというのよ!』・・・彼女は怒り心頭である。

アメリカは、国民を対象にした公的な医療保険がない。民間医療保険が中心である。この民間保険と高齢者と貧困者を対象にした公的保険 (メディケア、メディエイド) があるが、国民の15%つまり4,700万人が無保険者である。



民間保険はほとんどが営利追求の株式会社であり、利潤増大を最優先する。上の例のごとく保険事故が発生し給付の段になると、さまざまな難癖を付けて支払

すべての医療・福祉関係者に
見て欲しい映画です。



保険医協会が推薦します。



いを洩る。実際、保険会社の雇われ医師で査定率の高い場合には、その医師にボーナスが支払われると言う。また、ガンの治療のように治療費が莫大になる場合は、さまざまな理由を付けて支払を拒否したり、途中で打ち切られたりして、「金の切れ目が命の切れ目」とばかりバタバタ患者が死んでいく・・・これも日常のことである。



この映画では、このようなアメリカの医療制度の対比として、カナダ、フランス、イギリス、キューバの実状を紹介している。これらの国は、公的医療保障が整備され、治療費は原則無料なのである。

この映画に対し、アメリカ本国でも大騒動である。現ブッシュ政権も民間保険業界も心穏やかであるはずがない。もちろん批判もある。この映画のパンフレットの中で、デーブ・スペクター氏は「ムーアの映画作りは、独善的で公平さを欠き、ドキュメンタリー映画としては評価しない」と言っているが、この個性の強い映画の評価は観客各々がやればよいことと思う。

この映画の中で一番心に残ったのは、入院中の高齢の患者が、もはや支払い能力がないと病院が判断すると、この患者にタクシーチケットを一枚与え、病衣のまま、タクシーで運んで、貧民街の授産所の玄関先でポイとゴミを棄てるごとく降ろして去っていく場面である。よろよろと起きあがる患者。この場面では本当に目頭が熱くなった。

これはアメリカで起こっていることであって、日本のことではない? 冗談ではない。小泉行財政改革の一貫として、混合診療の解禁圧力、経済特区における株式会社病院の開設、保険外併用療養費制度の導入、日米の保険会社による民間医療保険の売り込み等々、日本でもアメリカのように医療を営利の対象とした業界の圧力は大変なものであり、また来年に控える後期高齢者医療制度の創設など公的医療保険も患者負担が増大し国民の負担も耐え難い状況、つまり「医療のアメリカ化」が進みつつある。もちろん現政権でもその流れは変わらない。

その意味でこの映画は、市場原理に基づく改革に熱心な現政権や、財界人にとっては、「国民に絶対観て欲しくない映画」である。であるならば、われわれにとっては、万難を排して「ぜひ観るべき映画」と言える。

首都圏では8月25日から上映が始まっているが、この石川県では9月29日より「イオンシネマ金沢」にて上映されることになっている。

映画を観た感想などを当編集部にお寄せいただければ幸いです。

電話 076-222-5373 FAX 076-231-5156
E-mail iskw_sugino@doc-net.or.jp

石川県では9月29日(土)
イオンシネマ金沢 (金沢フォーラス7階) で
ロードショー

「シッコ」
9月29日(土)イオンシネマ金沢にてロードショー
提供・共同配給:ギャガ・コミュニケーションズ×博報堂DYメディアパートナーズ
(短縮版 ギャガX博報堂) c2007 Dog Eat Dog Films, Inc.



数字と絵で見る在宅医療(その四)

「コロナ死」について

大川 義弘(金沢市・内科)

私の外来に通われている方、通所リハビリを利用している方、または訪問診療に行っている方を対象に、以前死生観についてアンケートをとったことがありました。
その中の質問の一つに「どういう死に方を希望しますか」という項目がありました。六十人の方から答えを得ました。その内訳を「表1」に示します。

〈表1〉 どういう死に方を望むか

Table with 3 columns: No., Answer, and Number of people. It lists 15 different preferences for death, such as 'I want to die peacefully', 'I don't want to die', etc.

私が経験した「コロナ死」の顛末は以下のように

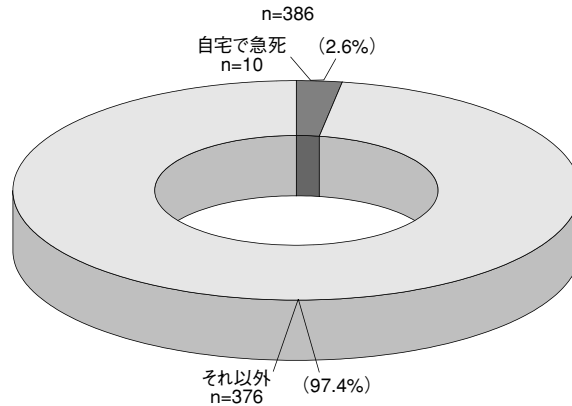
今回の訪問診療が終了となったシリーズでは、いわゆる「コロナ死」は十人のシリーズです。全体の三百八十六例のうち二・六%となります(図8)。こういう数字を他の報告で見たことがないの、多いのか少ないのかは、まったく分かりませんが、大多数の高齢者が望んでいる「コロナ死」は狭き門であることは間違いありません。

①六十六歳のパーキンソン病の男性。ヘルパーが正月二日に訪問すると餅をのどに詰まらせて亡くなっていた。
②九十一歳の女性。解離性大喜びで発作もなく、ここに

に顔で寿司屋で夕食を食べた。朝七時半に家人が見にくくと、吸入器をくわえたまま息が切れていた。
④五十七歳多発性脳梗塞の男性。午前十一時に浴槽の中で沈んでいるのを発見される。
⑤八十六歳の陳旧性心筋梗塞の女性。ヘルパーが訪問すると冷たくなっていった。
⑥八十六歳のCOPDの方、ケアマネージャーの方。訪問すると倒れていた。
⑦八十二歳の僧帽弁閉鎖不全・心不全の女性。前の日に三回転んだということ。民生委員さんに連絡あり。着替えをさせ、夕食をとらせて翌日見に行ったら死亡していた。
⑧八十七歳女性。肺炎で入院後改善し退院するも、その二週間後に食べないという事で往診すると、往診医の目の前でずっと息を引き取った。
⑨八十四歳の多発性脳梗塞の男性。家人が見に行ったら心臓停止であった。金沢医科大に搬送され死亡確認されたなど。

十例のうち一人暮らしが四例であり、それらはいわゆる孤独死となるし、家族がおられる場合は家族は仰天される。
コロナ死は難しいし、やはり寂しい死だと思われ

〈図8〉 訪問診療終了者で自宅で急死した割合



Advertisement for Group Insurance. Text: 'グループ保険ご加入のみなさまへ', 'グループ保険配当金を9月28日(金)に送金します', 'グループ保険加入者の皆様には、9月28日(金)に被保険者票と一緒に本年度配当金の明細をお届けいたします。'

Advertisement for Insurance Pension. Text: '【10月25日締切 ~申し込みはお早めに~】', '保険医年金 2007年度 加入・増口受付中', '~この機会にぜひ加入・増口をご検討ください~', '予定利率 1.256%', '※ 2007年9月1日現在の予定利率で将来変動することがあります。', '保険医年金の主な特徴は...', '○ライフスタイルに合わせて見直しができること', '○年金資産は4社でリスク分散され、ペイオフとは関係なく安心・安全な制度であること', '○透明性を持った制度であること', '石川県保険医協会 TEL:076-222-5373 FAX:076-231-5156'

石川県社会保障推進協議会が 後期高齢者医療広域連合と懇談



後期高齢者医療制度は、各都道府県や市町村並びに後期高齢者医療広域連合に大きな役割と責任を担わせるものとなっており、その基本姿勢や運営方法次第では、県民、当事者(75歳以上の後期高齢者)の命と健康を大きく損なう可能性があります。

石川県後期高齢者医療広域連合は2007年2月1日に発足し、2008年4月1日施行に向けて準備に追われています。

石川県社会保障推進協議会では、石川県後期高齢者医療広域連合に対する「質問と要望」をまとめ、8月29日に広域連合事務局長らと懇談しました。懇談には保険医協会からも事務局2人が参加しました。

以下、「質問と要望」に対する広域連合事務局の回答の一部を紹介します。

〔記〕

- 保険料：11月の広域連合臨時議会で保険料等に関する条例を制定する予定。
- 後期高齢者医療制度の周知の徹底方法と説明会の開催計画
制度の周知については県内市町の広報誌、広域連合や市町のホームページで行っています。今後フォーラムや説明会の開催を予定しています。行政がつくるパンフレットやポスター、チラシなど配布し周知します。また要望に応じて出前講座を実施する予定です。
- 被保険者の対象者数：石川県における平成17年度の老人保健対象者数は約148,000人。
- 高齢者の所得・生活の状態を踏まえた支払可能な保険料
保険料の決定は後期高齢者医療広域連合の条例にもとづき、適正に算定を行っていきます。低所得者に対しては、法定減免(7割、5割、2割)があります。また国の示す基準は応益割：応能割が50：50を標準としており、これを踏まえた算定を行う予定です。
- 広域連合独自の保険料の申請減免制度
国の保険料減免制度を基本としているため、独自の基準の減免制度については現在検討中。
- 一部負担金の減免制度
一部負担金の減免についてはできるかどうかを内部で検討中です。厚生労働省令によると、減免は災害等で著しい損害を受けた場合や世帯主の長期入院や失業等により、収入が著しく減少した場合に減免するように定めています。減免制度については内部で検討中。
- 保険料滞納者への「短期証」「資格証」発行
保険料滞納者と納付者では対応が異なることとなります。理由なく長期に滞納している人には「短期証」「資格証」を発行できることになっています。「短期証」「資格証」の発行についてはご理解をいただきたいと考えています。
- 健診・保健事業・埋葬料等
健診・保健事業の実施については市町と調整中です。埋葬料については検討中。
- 保険者・住民の要望や「声」を反映する機構やシステム
広域連合議会の議員は県内19市町の首長又は議会の中から議員を選出しており、市町の意見を十分に取り入れて運営していきます。

改訂第7版「福祉マップ」 編集奮戦記 6回シリーズ⑤

「節」から「章」に格上げされた「権利擁護」

社会福祉士 中 恵美(金沢市)

記念すべき「第7版」から参加させていただきました、新米編集委員の中です。

さて、『福祉マップ』の奮闘期を書かせていただいている今が、まさしく『福祉マップ』そのものの追い込みの時期なのです。さまざまな締切は、必ず何か他の原稿締切と重なるというジレンスは今回もまた貫かれたようです。

参加当初、これから起こる編集作業へのわくわくした期待でいっぱい、修羅場?というキーワードはどこか遠い世界の言葉のように意味をなさなかったのですが、今は分かります。修羅場なのです。それぞれに産みの苦しみといったものですね。歴代の編集委員の方々はこれを乗り越えて、だからこそ、この『福祉マップ』には、魂が感じられるのだと、深く納得しました。

さて、今回の『福祉マップ』の見所を、少しだけご紹介させていただきます。紙面に限りがありますので、私自身が主に担当している「権利擁護」という章についてのご紹介に焦点を絞らせていただきます。

前回の第6版で初登場した「権利擁護」は、その他の福祉制度という章の中の最後の1節でした。今回の第7版の編集会議で、なんと章に格上げされたのです。皆さまには、この章を、祝「権利擁護」といった温かい眼差しをもって誕生を祝っていただければと思います。

しかし、「権利擁護」が時代の中で、このように注目を浴びようになった背景については、私たちソーシャルワーカーならずとも胸を痛める事件が数多くあります。ご存知のように、介護保険制度の創設をはじめとして、世の中の仕組みは大きく様変わりしています。本格的な契約の時代の到来により、さまざまな医療・福祉サービス、生活、さらには人生の在り方を自分で選ぶ、いわゆる自己決定が強調されるようになりました。このこと自体は、喜ばしいことですが、反面、自分のことを自分で選ぶのが困難な人や、選べる環境にない人をどのように支援していくのかが大きな課題となりました。深刻な権利侵害事例も毎日のニュースを賑わせているという、いまいましき事実からも目を反らせません。

今回の『福祉マップ』では、「権利擁護」に正面から向かっています。多くを語らずとも、表題を羅列しただけでお分かりいただけることと思います。権利擁護の制度としての成年後見制度などの紹介、より分かりやすく権利擁護を知るために、各分野ごとの権利擁護として、高齢者虐待問題、児童虐待問題、介護保険の苦情申し立ての仕組み、障がいのある人の権利擁護、医療事故問題や終末期医療にまで言及した医療における権利擁護、DVなど女性の権利擁護、近年振り込め詐欺などで注目されている消費者の権利擁護まで。

自己決定を阻害する要因は、ほとんどが個人より周りの環境にあると言われます。自分で選ぶための具体的な情報が提供されていないのです。この『福祉マップ』は、その必要な情報を、すべての人に分かりやすく提供することで、自分のことを自分で選ぶという当たり前の権利を保障することにも寄与できればとの願いをこめています。そんな夢を見ながら、目の前の現実(修羅場)に戻りたいと思います。

第2回 石川県社会保障学校 人権が息づく街づくり

■とき/9月22日(土) 10:00~16:00 ■ところ/石川県立生涯学習センター

〈午前〉記念講演 人間に値する生活とは?~ナショナルミニマムと真の自立支援~
布川 日佐史 静岡大学教授 専門:労働経済、ワーキングプア、生活保護

〈午後〉分科会
(1)貧困と格差を考える ー生活保護、ワーキングプアー
(2)地域医療を考える ー医師不足、看護師不足問題とその打開の道はー
(3)市町村合併で福祉はどうなったのか? (4)震災と社会保障(生活保障)
(5)守れ子どもの権利、崩す公的保育制度

主催:石川県社会保障学校実行委員会

複眼的に思索する 読書教室 その13

○テーマ— 国際派エッセイスト 米原万里さんの作品

喜多 徹(野々市町・内科)

ロシア語同時通訳者でエッセイストの米原万里さんが昨年5月、卵巣がんで亡くなった。今回は米原万里さんの代表作、最近出た作品を取りあげる。

【読んだ本】

①嘘つきアーニャの真っ赤な真実 ●出版：角川文庫 (2001年6月)



②終生ヒトのオスは飼わず ●出版：文藝春秋 (2007年5月)

③米原万里の「愛の法則」 ●出版：集英社新書 (2007年8月)

①嘘つきアーニャの真っ赤な真実

大宅壮一ノンフィクション賞受賞作品。

この作品が、エッセイスト米原万里の評価を決定づけた。米原さんの父は元日本共産党衆議院議員の米原昶(わたる)氏で、小学校3年の時、父が共産党の理論情報誌『平和と社会主義の諸問題』編集委員として、編集局のあるチェコスロバキアの首都プラハに赴任することになり同行。9歳から14歳まで少女時代の5年間、現地にあるソ連外務省が直接運営するソビエト学校に入学する。そこで出会った3人の個性豊かなギリシャ人、ルーマニア人、ユーゴスラビア人の同級生を30年後、その消息を訪ねて米原さんが旅し、それぞれと劇的な再会を果たす話である。

ソ連の崩壊、東欧諸国の混乱、ユーゴの分裂内戦などを経て、各々過酷な人生を逞しく生き抜いてきたことを知るのである。

再会までのエピソードはスリリングに満ち、再会はきわめて劇的、感動的である。彼女たちの生き方を通じて、まさに20世紀後半の激動の歴史を知るものであり、「あの社会主義とは何だったのか」と思わずにいられないのである。このような作品を書けるのも、少女期にソビエト学校通学という稀有な経験、豊かな感性と知性、抜群の語学力を持つ米原さんならではの作品だろう。面白くて最後まで一気に読んでしまう。読後一服の清涼感に浸る。彼女の作品でも最高傑作の一つであろう。

②終生ヒトのオスは飼わず

二部構成の晩年の作品。

一部では米原家に住んでいる5匹の猫と1匹の犬との交流を描く。仕事を離れての米原さんの実生活を綴った作品。猫にも犬にも個性があり、それを理解する感性。この毛深い家族たちのことで、喜び、怒り、苦悩する。猫のお産のために大事な同時通訳の仕事をキャンセルし、家出した犬を探して新聞にチラシを入れたり、東奔西走する。もう「ヒト」の家族以上である。

でも、米原さんがこれほどまでに愛した毛深い家族たちが、彼女の死後バラバラになってしまう。元秘書の金田さんが淡々と書いた後日談を読むとほろりとしてしまう。

二部は米原家の歴史。父米原昶氏は、共産主義活動家で戦前18年間潜伏生活。実家は鳥取県の山林地主大富豪。祖父は戦前の憲政会の貴族院議員。戦後、潜伏より出てきた息子のために大邸宅、昭和24年に鳥取選挙区より共産党衆議院議員に当選したときは、田園調布に土地を与えたが、昶氏は、ことごとく共産党にカンパしてしまったことなどが書かれている。結局、祖父も父もそれぞれ夢を抱いた人生を送ったのだ、と結んでいる。

③米原万里の「愛の法則」

米原さんの死後、1年目に出版された、講演録集。

4部構成で第1部は、愛の法則。米原さんは下ネタと駄洒落でも有名だが、これは下ネタ中心の話。～皆さん、デュマの三銃士は読んだことがあるでしょう。でも原典の三銃士を読むとすごいですよ。ダルタニヤンとミレディーの濡れ場とベッドシーンばかりですから～で始まる。女が本流で、男がサンプル、「フル」ジュアジーと「フラレ」タリアートの深い溝などの話題がボンボン飛び出す。米原流生物遺伝学は、ちょっとおかしいなあと思いつつ、ついつい引き込まれて納得させられてしまう。

第2部は国際化とグローバルゼーションの話。

アメリカ人のグローバルゼーションとは自分たちの基準を世界に普遍化させるということ。日本人のそれは国際的な基準に自分たちが合わせるという意味と断言。その時々最強の国に一辺倒に着いていくのが日本。そもそも言語や文化は民族のよりどころ。でも、日本人はその意識が希薄など、結構ナショナリスト的な一面も見せる。とにかく英語一辺倒の対外交流を改め、幅広い英語以外の言語能力をも身につけ、肌で交流することを提唱している。もっともな意見と思う。

3～4部は通訳や翻訳についての評論。紙面の都合で省略する。

生前、テレビのコメンテーターをされている時は、コミニスト的な発言が多いとの印象を持っていたが、一方でナショナリスト的な考えの持ち主であることを理解する。でもそれは、「美しい国」を提唱する某政治家と違い、深い教養と豊かな人生の経験に裏打ちされた思想であることが分かる。

なお、第1部の講演は、死のほぼ1年前、金沢二水高校で行われた講演記録である。こんな講演を聴くことができた二水校生は本当に幸せだったと思う反面、二水の校長先生は、ハラハラ、ドキドキだっただろうと思うのである。

Q&A 格差拡大の象徴

ネットカフェ難民 全国に五千四百人(厚労省調べ)

【Q】「ネットカフェ難民」が社会問題になっていますね。

【A】厚労省の調査では全国で五千四百人。住む家を失い、ネットカフェや漫画喫茶に寝泊まりして暮らしています。

【Q】日雇い派遣などの非正規雇用が半数で、失業者も多いのですが、中には正社員もいました。働いても家賃さえ確保できないということがありますか。

【A】彼らの平均月収は東京で十万七千円、大阪で八万三千円程度。敷金などの費用が貯められず、ネットカフェ生活から抜け出せない人が多数を占めます。ワーキングプアの典型です。二十歳代、三十歳代が約半数ですが、五十歳代も四分の一近くいます。

【Q】もはや若年層だけの問題じゃないということがありますね。

【A】社全体に格差拡大が背景です。厚生労働省が先日発表した所得再分配調査で、所得格差を表す二〇〇四年のジニ係数は、前回調査の三年前を上回っています。この間の構造改革路線によって格差が拡大したことが、改めて示されたわけです。ネットカフェ難民はその象徴的な存在です。

【Q】構造改革が低賃金労働を広げたわけですかね？

【A】そうです。派遣労働の規制緩和など、働くルールの解体が、不安定で低賃金の非正規雇用を増やし続け、ワーキングプアを生み出しました。これをさらに徹底する「労働ビッグバン」を進めようという自公政権下では、ネットカフェ難民は今後も増え続けます。

【連合通信】



【A】社全体に格差拡大が背景です。厚生労働省が先日発表した所得再分配調査で、所得格差を表す二〇〇四年のジニ係数は、前回調査の三年前を上回っています。この間の構造改革路線によって格差が拡大したことが、改めて示されたわけです。ネットカフェ難民はその象徴的な存在です。



地方紙記者の取材もあった第4回憲法講演会

市民公開で第4回憲法講演会 医師と戦争犯罪

～アジア・太平洋戦争において～

齊藤 典才 (金沢市・外科)

九条の会・石川医療者の会は、これまで三回にわたって憲法講演会を開催してきたが、今年五月に正式発足したことに伴い、八月四日(土)、松ヶ枝福祉館で、初めて市民公開としての講演会を開催した。

第四回になるこの憲法講演会、テーマは「医師と戦争犯罪」(アジア・太平洋戦争において)で、講師には十五年戦争と日本の医学・医療研究会名誉幹事長の助昭三(あざみ・しょうぞう)氏を迎え、十八人の参加者があった。

助氏は講演で、旧日本軍の軍医や当時の医学研究者が犯した医学犯罪について、日中両国の研究者による近年の中国現地調査や米国で公開された資料などから明らかにした事実を紹介しながら、「過去の歴史に率直に向き合い、アジアの人々と歴史的事実を共有し、この医学的犯罪から教訓を学ばなければならぬ」と語った。

以下に、齊藤典才会員の参加印象記を掲載する。なお、第五回憲法講演会の開催要項も併載する。

講師は、十五年戦争と日本の医学・医療研究会名誉幹事長の助(あざみ)昭三先生で、内容は「医師と戦争犯罪」(アジア・太平洋戦争において)であった。講師は、十五年戦争と日本の医学・医療研究会名誉幹事長の助(あざみ)昭三先生で、内容は「医師と戦争犯罪」(アジア・太平洋戦争において)であった。

七三一 今の問題は二つあると思われ。一つは、日本政府がその事実を認めていないこと、もう一つは、医学関係者がその事実を認めていないことである。助氏は、中国で得られた資料や、かかわった人物への聞き取り調査など、多くの資料を提示され、その事実の存在を証明された。しかし政府は、過去の答弁、質疑応答で、「資料がない、調べようがない」などの発言を繰り返してきたように思われる。たまたま数人の医師たちの努力でこれだけの資料が集められるのに、なぜ政府、役人たちがそのような努力をしないのか。従軍慰

映画狂のつばき

おすすめの1本 その30

奥田 宏 (金沢市・心療内科)

マンハッタン

一九七九年(米)

監督 ウディ・アレン

出演 ウディ・アレン
ダイアン・キートン

ニューヨーク・マンハッタンという世界の中でも特別な街と、そこに住む人の叙情をこんなにも

いとおしく、たつぷりと描いた映画はないと思う。

朝まだき、マンハッタンの摩天楼がガーシユインの「ラブソディー・イン・ブルー」とともに姿を現す。粋な出だしである。そしてニューヨークを愛する監督ウディのこの街へのさまざまな思い・考えが語られ、その独特の存在感が心の中に染み渡ってくる。そして、夜までの素晴らしい

ニューヨークの姿を堪能させてくれる。

主人公のアイザック(ウディ・アレン)はテレビ作家だが、陳腐なトック番組に嫌気が差し、七三一部隊に従事した者たちが各地の大学教授になったり、旧ミドリ十字の役員になったりしたことが、うしろめたいためののか。

この東アジアで日本の医師たちが行った非道の数々は、われわれが運動し、日本政府や医療界を動かさなければならない。また、日本の医学界においても、大学関係者や医師会など大きな組織から、その事実に対して何のコメントもなされていない。それは大学六年間の医学教育において、八〇%以上の大学で、七三一部隊や九州大学生体解剖実験のことを講義していないことからも明らかである。それは当時

アイザックの前妻ジル(メリル・ストリープ)は、息子と同性愛者の女性と暮らしており、アイザックとの夫婦生活を描いた暴露本を執筆中で、彼は困っていた。彼の親友で出版社に勤めるエール夫妻とアイザックとトレイシーが、バーで知的な大人の会話を楽しんでいた。その帰りにエール(マイケル・マーフィー)から、彼が現在浮気していることを「告白」されて、アイザックはびびり、その浮気相手メリー(ダイアン・キートン)とまもなく昼の美術館で

アイザックは、やはり自分にはトレイシーしかないと思いき、ロンドンに旅立つトレイシーに、ニューヨークで一緒に暮らすようと懇願するのだった。

アイザックの浮気相手メリー(ダイアン・キートン)とまもなく昼の美術館で

アイザックは、やはり自分にはトレイシーしかないと思いき、ロンドンに旅立つトレイシーに、ニューヨークで一緒に暮らすようと懇願するのだった。

何とも、悩み多き現代人。時代の最先端をいつていると思われながら、とても不器用な都会人の姿を独特のペーソスで描いている。その台詞回しが小憎らしく、それぞれのキャラクターが人間の悲哀をつむぎ出している。そしてウディの波乱万丈の私生活が、映画の中でユーモラスに暴露されている。

彼の創作力は二十世紀になっても衰えず、新作を連発している!!

彼の創作力は二十世紀になっても衰えず、新作を連発している!!

彼の創作力は二十世紀になっても衰えず、新作を連発している!!

第5回 憲法講演会

私が見てきた アジア・大太平洋戦争

講師 児童文学作家 勝尾金弥氏

第二次世界大戦(アジア・太平洋戦争)では、わが国は「大東亜共栄圏」をつくるというスローガンを掲げ、アジア諸国を西欧列強の植民地から解放するという美名のもとに、中国からインドネシア、マレー半島に到る地域まで軍隊を派遣し、各地で軍政を敷き日の丸を掲げて支配しました。

今回の講演会は、それらアジアの国々の少年や若者たちが当時どのような境遇で生活していたのかを長年調査され、児童文学作品に託して記録を世に問われた、勝尾金弥さんにご講演いただきます。

記

日時 2007年10月21日(日) 午前10時～正午

場所 石川県教育会館 2階大集会室
(金沢市香林坊・アトリオ裏 電話 222-1241)

参加費 無料

九条の会・石川医療者の会
(事務局) 石川県保険医協会：電話 076(222)5373

ヒロシマのバラ

北山 吉明(金沢市・形成外科)

7月22日(日曜日)に卯辰山で開かれた「反核・平和おりづる市民のつどい」で歌を歌った際に、ぜひ参加者の皆さんに知って欲しいという気持ちから、「ヒロシマのバラ」という曲を紹介した。

この曲を知るきっかけは、朝日新聞社の南米特派員だった小里仁(こざと・ひとし)氏の著書、『ラテン・アメリカ 風の国、人の夢』(岩波書店発行、同時代ライブラリー116)である。この本の中に「ヒロシマのバラ」という曲が生まれたいきさつや、それに関わる事柄について書かれていた。

以下に、小里氏の文章から、その要点を紹介する。

『ブラジルの名曲『イパネマの娘』の作詞者といえば、ヴィニシウス・デ・モラエスだ。作曲家トム・ジョビンと組んでボサノバの数々のヒット曲を生み出した詩人である。

(中略)

愛をかたるロマンティックな作品が多い中で「ヒロシマのバラ」は異色である。

考えてごらん もの言えぬ 感受性鋭い あのこどもたちのことを
考えてごらん 目の見えぬ ころろ不安定な あの女の子たちのことを
考えてごらん すさんで 異常な あの女たちを
考えてごらん 熱いバラのごとく 傷ついた あのひとたちを
でも ああ バラを忘れないで バラ、あのバラ ヒロシマのバラ
遺伝する放射能の 愚かで無価値な 病んだバラ
本物とは似ても似つかぬ 色もなければ香りもせず 花も咲かない
なんとも言いようのない 原子のバラ

1945年8月6日に広島の上空を覆ったキノコ雲を、詩人はバラにたとえた。ポルトガル語で「バラのように」といえば、みずみずしい、健康な、という意味だ。夢、愛、健康……。花の女王ともいべきバラは古来、プラスの象徴で彩られている。このイメージを思い切り逆転させて、人類のあやまちがもたらしたこの醜悪な破壊的存在になすりつけた。1973年、歌手ネイ・マトグロソが率いる人気バンド「セックス・エ・モリャードス」の一人、ジェルソン・コンラドがこの詩に曲をつけた。バラード調のゆったりとしたテンポで、つぶやくように繰り返し語りかける。柔らかく、さざ波のように何かが伝わってくる曲だ。

(中略)

サンパウロ市東部、ジャルディン・ノサ・セニョーラ・ド・カルモ地区に「ヒロシマ市」を校名にした州立学校がある。8月6日、今年も平和を祈念する学校行事が行われた。(中略)「平和のために戦う」「これからの目的は勝つために非武装になることだ」校舎1階の廊下の壁には、「原爆」「世界平和」「暴力」「麻薬」をテーマに生徒たちが知恵を絞ったこんな標語やポスターが所せましと貼ってある。(中略) マリア・エレオニウザ・オリベイラ校長のあいさつのもと、標語や作文の応募作品300点の中から、金、銀、銅各賞の発表・表彰式があり、つづいて、男の先生がギターを手に「ヒロシマのバラ」を歌った。

(中略)

1971年に永野巖雄広島県知事(当時)がブラジルを訪問し、アブレウ・サンパウロ州知事(同)と会見した。これがきっかけで、感銘を受けた州知事が「ヒ



金沢市・卯辰山にある「平和の子ら像」前で、「千の風になって」を熱唱する筆者の北山吉明医師

ロシマを戦争の惨禍、灰燼の中から蘇った象徴と考えて、どこかにヒロシマという名を付けた州立校をつくる」と約束、この学校に白羽の矢が立ったという。(中略)

8月初め、この学校では1週間、普通の授業をすべてやめてヒロシマを学ぶ特別授業に切り替える。学級ごとに「わたしにとって平和とは・・・」と討論し、まず平和の定義を話し合う。そのあと、科学の時間には原爆とは何か、その被害の大きさはどんなものかを勉強する。社会の時間にはサンパウロ文化センターの図書館へ足を運ぶなどして、第二次大戦の歴史を本や新聞でしらべる。(中略)

そして、国語や美術の時間では作文を書き、ポスターをかく。だから、よその生徒よりは平和を考える姿勢が身についていると思う、と校長は控えめにいった。

(中略)

ヒロシマは、地球の反対側でも、語り継がれている。四六時中というわけではない。声高にではない。愛を語る詩人ヴィニシウスが「バラ」を忘れなかったように、八月がくると「ヒロシマ市」校がかならずヒロシマ週間を設けるように、(中略) ころろの片隅で静かに、深く。』

解説を終えたあと、CDを流した。「ヒロシマのバラ」の歌声はゆっくり人々の間をめぐり、やがて夏空に吸い込まれていった。

戦後62年、早くも戦争にまつわる教訓が風化しようとしている。世界中が知っている、原爆の悲惨さを当の日本人が忘れそうになっている。なんと愚かではずかしいことか。日本人の誇りと尊厳にかけて、「ヒロシマ」「ナガサキ」は語り伝えねばならない。

歴史は、それ自体が風化したり消滅したりするものではない。そうなるのであれば、それはひとえに、語り部としてのわれわれの怠慢であることを、肝に銘じなければならない。

第15回 会員デビュー講演・シンポジウム

～開業医としての夢を語る～



「会員デビュー講演・シンポジウム」も第15回目を迎えます。この企画は、比較的最近に開業された新しい会員3人に、「どういう夢を感じて開業医になったのか」「これまでの足跡とこれから何をしたいのか」を約20分ずつご講演いただき、最後にシンポジウム形式で参加者と意見交換しよう、というものです。
夢を失いかげ勇気を取り戻したい貴方、いやいや若僧も開業医の真髄はかくあるべきだと伝えたい貴方、そんな会員の皆さまが老若男女を問わず語り合い、親睦を図る場にしたいと思います。

- と き / 2007年10月25日(木) 午後7時半～9時
- と ころ / 金沢都ホテル 5階「蓬莱の間」 (JR金沢駅東口正面 / 電話 076-261-2111)
- 参加費 / 無料
※10月19日までに保険医協会まで電話・FAX・E-mailなどで必ずお申し込みください。
※定員に達し次第、締め切らせて頂きます。

◆報告・テーマ◆

- ◇大門正一郎 会員(だいもん内科・腎透析クリニック院長/野々市町・内科) テーマ 末期慢性腎不全の治療と日本 ～当院での現状～
- ◇橋本 憲三 会員(はしもと内科クリニック院長/野々市町・内科) テーマ 大海原に飛び出して
- ◇森 明弘 会員(森明弘クリニック院長/野々市町・外科・内科) テーマ 解雇1年6カ月後開業の一例 ～テナント開業～

主催 / 石川県保険医協会 ●電話 076 (222) 5373 / FAX 076 (231) 5156 / E-mail: iskw_sugino@doc-net.or.jp

石丸幹夫先生の

6回シリーズ⑥

エッセー・エッセー・essay

韓国語が面白い

石丸 幹夫 (金沢市・耳鼻咽喉科)

最終回

原稿募集中

趣味や旅行記、医療・福祉に関する平和、環境問題についてなど、会員寄稿をお待ちしています。事務局の杉野までご連絡ください。019 (222) 5173

会員リレーエッセー ◆◆98◆◆

傷病名のコード化

中川 寛忠 (金沢市・眼科)

レセプトのオンライン化が叫ばれている時代に、手書きレセプトは余りにも時代遅れとの業者の言いに乗せられ、レセコンを購入することにした。どうせならばとフロッピーでの提出に移行することにした。紙レセプトなら傷病名コードなど余り気にならないと思うが、フロッピーではどうなるか気になる(本当は業者が入力してきた病名リストに誤字が多数あり、また分類が適当でなく訂正が必要となり、傷病名コードで再入力すると共に部位、機能別に分類し直した)。

ある調査によれば眼科用語集(日本眼科学会発

行)には約一千九百の眼科関連病名があり、標準病名マスター作業班のものには約一千六百の眼科関連病名がある。両者では共通するものは約八百程度に止まることである。眼科用語集の病名が標準的であるかは疑問だが(医師によっても多少の差があるし、時代と共に変化もする)、かなりの不一致があることは明らかだ。

傷病名コードの検索には標準病名マスター作業班が提供しているフリーのソフト「病名くん」と「病名移行ツール(オンライン版)」を利用した。「病名くん」は病名を傷病名コードに変換するのに用いた。「病名移行ツール(オンライン版)」では類似病名検索と、病名と修飾語の組合せの検索を行った。標準病名マスターには「老人性白内障」はない。

代わりに「加齢性白内障(3661013)」がある。業者は他の先生は妥協してこれを使っておられると言いますが、これまで「加齢性白内障」という病名は使ったことがなくとも馴染めそうにない、ここは何とか「老人性白内障」にこだわりたい。「病名移行ツール(オンライン版)」で調べて、「老人性+白内障(6023+3669004)」とした(意外と簡単)。すべて



ビルを飾るハングルはすざましい

私が韓国語に興味を持って行ったつもりだが、実際のが一九八二年、初めて 海外旅行で光州市を訪問 してからである。ハングル 文字は、まさに抽象図形の文字の発音だけ少し勉強し 当時、釜山から光州に至

る南海高 速道路を ギア鳴り の激しい がたがた バスに乗 り、麗水 迎りの休 憩でトイ レにいつ た時、そ れらしい 建物に行 き、入り 口のハン グルをゆ つくり発 音してみ たら『フ

アジャンシル」「化粧室 だ!」、これが私の韓国語 の始まりかも知れない。 韓国の諺で『シジャキ

た、一九八二年、初めて 海外旅行で光州市を訪問 してからである。ハングル 文字は、まさに抽象図形の文字の発音だけ少し勉強し 当時、釜山から光州に至

る南海高 速道路を ギア鳴り の激しい がたがた バスに乗 り、麗水 迎りの休 憩でトイ レにいつ た時、そ れらしい 建物に行 き、入り 口のハン グルをゆ つくり発 音してみ たら『フ

アジャンシル」「化粧室 だ!」、これが私の韓国語 の始まりかも知れない。 韓国の諺で『シジャキ

代わりに「加齢性白内障(3661013)」がある。業者は他の先生は妥協してこれを使っておられると言いますが、これまで「加齢性白内障」という病名は使ったことがなくとも馴染めそうにない、ここは何とか「老人性白内障」にこだわりたい。「病名移行ツール(オンライン版)」で調べて、「老人性+白内障(6023+3669004)」とした(意外と簡単)。すべて

レセプトの傷病名は診療内容の根拠となるものだから、一つひとつの病名にこだわって付けるべきと思っている。

まだまだ病名の標準化には程遠い気がしているが、そのうちレセプトの病名はこの表に載っているもの以外は使用してはならないなどということにならないか心配になる。

原稿募集中

会員の原稿を募集しています。旅行記や趣味、医療・福祉など、内容は問いません。原稿送付は一面左上のカギコ内、保険医協会編集部まで。

ソウルの書店で韓国人が 名前がでた。日本人の友人

最近、ひょっとしたこと から韓国の人と戦争の話になり、マッカーサー將軍の

春の霞に昼気楼のごとし

イルミネーション美しき漢江渡る

恭子

この先生はバードウォッチングを知らないのかと思

「バードは鳥だから、その観察ですよ」と申し上げたら、先生は「ああ、ポードウォッチングのことですか?」。本当に日本とは違っていると実感した。

韓国語勉強の楽しみは、

碁

出題 九段 佐藤昌晴

黒先白死 5分で中級者

<ヒント> コウをさける一手は?

(解答は3面にあります)

将棋

出題 六段 高田尚平

持駒 銀香

<ヒント> 銀をうまくさばく。10分で1級。

(解答は3面にあります)